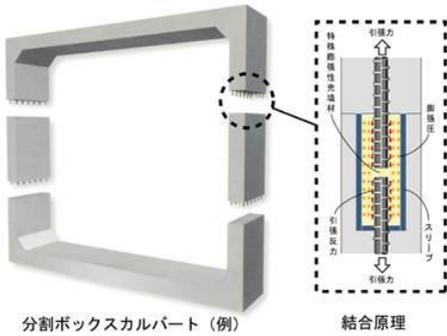
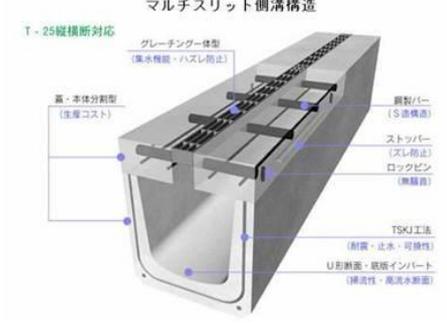
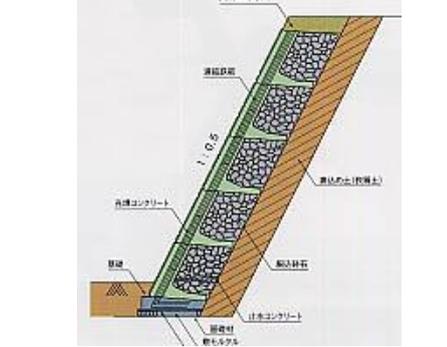
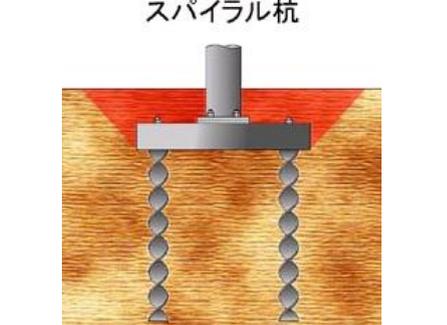
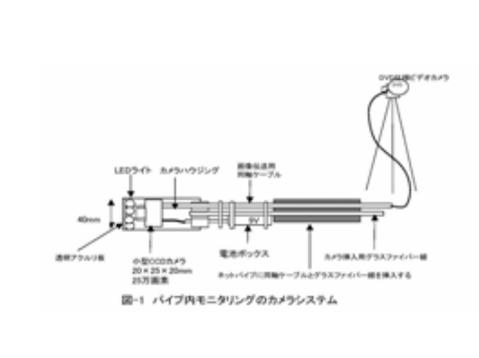
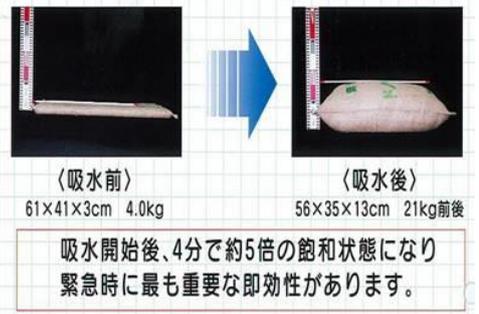
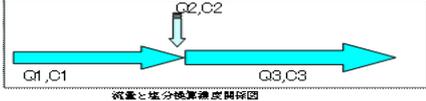
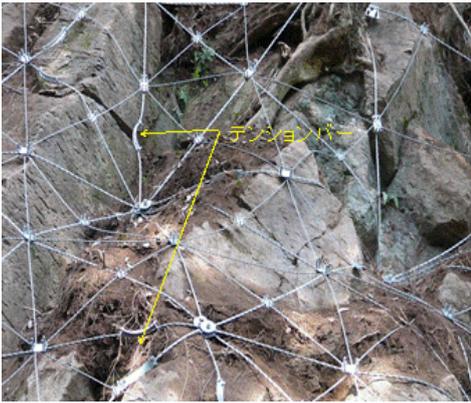
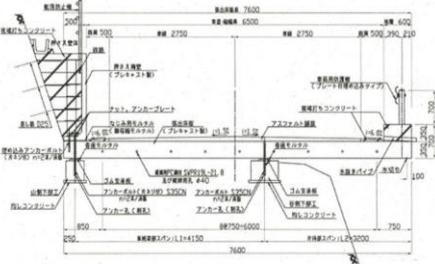


工法名	工法概要	新技術・新工法
<p>登録番号</p> <p>5001</p> <p>S.P.Cウォール工法</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽量材（エアーモルタル、エアーミルク）を利用した擁壁工法</li> <li>・表面のコンクリート版にPC部材（PC鋼棒やPC鋼線）を接続し、いままでの擁壁より小規模な床堀で施工が可能。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・擁壁構造の小規模化により、山岳道路の大規模な床堀や仮設ができない箇所に有効。</li> <li>・全面通行止めを行わずに工事施工が可能。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期短縮、コスト縮減</li> </ul>	
<p>登録番号</p> <p>5002</p> <p>濁水処理ECO-BOXシステム</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・濁水処理ECO-BOXシステムは、建設工事（掘削、推進、シールド、地盤改良、ダム、トンネル工事等）で発生する濁水を擬集材を攪拌混合し、個体と液体の分離までを瞬時に行う処理システム。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易な設備で小人数での作業が可能</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工ヤードの小スペース化、コスト縮減</li> </ul>	
<p>登録番号</p> <p>5004</p> <p>周波数効果を利用した電気探査（DII法）</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CTスキャナーのように地盤を調査するもので、比抵抗映像断面を用いて地質構造を解析する電気探査方法。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水脈の位置や水没空洞位置と規模を調査。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来工法より簡易に調査、コスト縮減</li> </ul>	
<p>登録番号</p> <p>5005</p> <p>TSKJ工法</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BOX及び水路のジョイント工法。TOPグレードやNEWグレードの種類がある。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BOX及び水路に使用し、地盤の変化に追従し、過大な変形も吸収。耐震、止水、可とうの性能を有する。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト縮減、品質向上</li> </ul>	

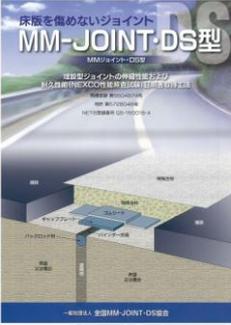
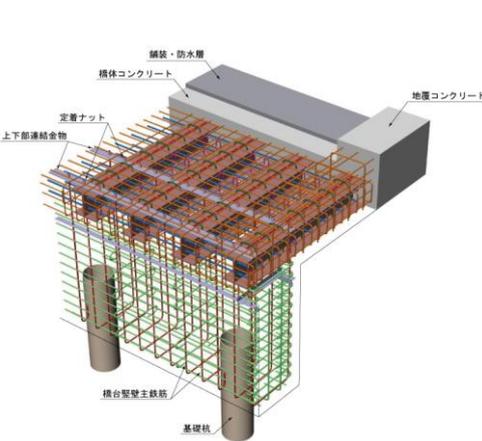
工法名	工法概要	新技術・新工法
<p>登録番号</p> <p>5006</p> <p>YPJ工法</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分割ボックスカルバートの継手工法。工場製作されたプレキャスト部品を現場で接合する工法。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・YPJ工法は充填材の膨張力により鉄筋を拘束する事で分割部材を簡易に結合</li> <li>・大幅な工期短縮を可能とした工法</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期短縮、品質向上</li> </ul>	<p>新技術・新工法</p>  <p>分割ボックスカルバート（例）</p> <p>結合原理</p>
<p>登録番号</p> <p>5007</p> <p>マルチスリット側溝 I 型</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・側溝と蓋の単純形状品で構成されており、本体と蓋はロックピンで固定されている為、側溝蓋のガタツキによる騒音を解消した側溝。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全面スリット付きの蓋により、路線全体の集水が可能。</li> <li>・蓋は縁石一体型（バリアフリー対応等）や、フラット型、嵩上げ型、縁石乗せ掛け型等、多くのバリエーションがあり、様々な現場ニーズに対応する。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音防止、コスト縮減</li> </ul>	<p>マルチスリット側溝構造</p>  <p>T-25縦横断対応</p> <p>グレーチング一体型 （集水機能・ハズレ防止）</p> <p>蓋・本体分割型 （生産コスト）</p> <p>調整バネ （S溝構造）</p> <p>ストッパー （ズレ防止）</p> <p>ロックピン （騒音防止）</p> <p>TSKJ工法 （耐震・止水・可塑性）</p> <p>U形断面・底層インサート （排水性・高浸水耐量）</p>
<p>登録番号</p> <p>5009</p> <p>NSSブロック</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来のもたれ式擁壁に対し、コンクリートと碎石の比重差を利用し、底版幅を縮小してコンクリートボリュームを削減し、壁面ブロックを二次製品化した大型ブロック等の代替工法です。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・壁面ブロックに円筒部を設け鉄筋一体化構造とし、施工性を向上。</li> <li>・胴込め碎石が排水性を有しているため、裏込め材が不要で、背面の掘削量を削減。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期短縮、コスト縮減、掘削量の低減。</li> </ul>	 <p>天端コンクリート</p> <p>溝筋取部</p> <p>L・Gを</p> <p>溝込め砕石（排水層）</p> <p>胴込め砕石</p> <p>鉄筋</p> <p>高圧コンクリート</p> <p>基礎</p> <p>胴込め砕石</p> <p>低圧コンクリート</p>
<p>登録番号</p> <p>5010</p> <p>GT・スパイラル支柱基礎杭工法</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・らせん状にねじり加工した鋼製の杭。</li> <li>・木ネジの作用を利用し回転させて地盤に打ち込み照明灯の基礎等に使用。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤を乱すことなく、地下埋設物をさけて施工。</li> <li>・床掘施工が不要なため大規模な機械が不要。</li> <li>・歩道の交通止が不要。</li> <li>・材料の再使用が可能。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期短縮、コスト縮減、騒音振動の低減</li> </ul>	<p>スパイラル杭</p>  <p>スパイラル杭</p>

工法名	工法概要	新技術・新工法
<p>登録番号</p> <p>5011</p> <p>スチールPC合成桁橋（S. P. C. 橋）</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I型断面をなした上フランジ部に圧縮鋼材を配置することで桁高を抑え、断面内の中立軸を引き上げることが可能となり、PC鋼材からの偏心距離を大きくすることでプレストレスを有効に導入することが可能となる。</li> <li>・桁断面外にPCケーブルを配置するような張弦構造を桁断面内で再現することが可能。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低い桁高で長スパン（60m前後）を1スパンで架設が可能。</li> <li>・セグメント桁を使用できるため10m程度の作業ヤードで施工可能。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト縮減（60m程度のスパン時に有効）</li> </ul>	
<p>登録番号</p> <p>5012</p> <p>ASRR（アスル）ユニット及び工法</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場で舗装を剥ぎ取りし、アスファルト殻をそのまま現場で再生利用し舗装する工法。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスファルト新材の購入や運搬などの経費が不要。環境にやさしい工法。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期短縮、コスト縮減、環境負荷が小さい</li> </ul>	
<p>登録番号</p> <p>5013</p> <p>地すべり地帯におけるドレーンパイプの機能回復工法</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動力噴霧機を利用したドレーンパイプの機能回復工法。洗浄用ホースの移動を弾力補強ホースの工法からの押し込み力と洗管ノズルの逆噴射の水力を利用し、ボアホールカメラでモニターしながら作業を行う。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用機材は軽量であるため、運搬車や人力で運搬が可能である。</li> <li>・カメラでモニターしながら作業を行うため、確実な洗浄と不必要な洗浄の省略ができる。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト縮減、作業効率の向上</li> </ul>	
<p>登録番号</p> <p>6014</p> <p>環境循環型機能性土のう</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用前は約4kg/袋の土のうが、水に4分程度浸すことで5倍の21kg/袋の水防用土のうとして使用。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容物を天然素材（ひのきのチップ、デンブン、砂）を使用し、比重は1.2で水に沈む。</li> <li>・麻袋を使用し、多段積みが可能。</li> <li>・使用後は樹木の肥料として再生使用。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの土のうに比べ敏速に現地に適応。</li> <li>・コスト縮減。</li> </ul>	

工法名	工法概要	新技術・新工法
<p>登録番号</p> <p>7015</p> <p>簡易水量調査法（塩分収支法）</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上流より食塩水を一定量継続して流し、希釈された塩濃度（水比抵抗変化）を測って流量を求める調査方法。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横断測量をする必要がないため、調査日数が短縮され、また、調査船等も不要で経費が節減できる。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期短縮、コスト縮減、品質向上</li> </ul>	<p>水比抵抗による水路の流量測定</p>  <p>流量と塩分濃度測定断面図</p> <p><math>Q1 \cdot C1 + Q2 \cdot C2 = Q3 \cdot C3</math> ———塩分量  <math>Q3 = Q1 + Q2</math> なので ———水量</p> <p><math>Q1 \cdot C1 + Q2 \cdot C2 = (Q1 + Q2) \cdot C3</math>      よって、<math>Q1 = \frac{Q2(C3 - C2)}{C1 - C3}</math></p>
<p>登録番号</p> <p>7016</p> <p>再生粒度調整碎石（エコパンS-2）</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生クラッシャーランとPS（ペーパーセラッジ）灰を造粒固化した骨材を混合した再生粒度調整碎石。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装要綱にある修正CBR、すりへり試験値をクリアし、PS灰のリサイクル性を高め、産業廃棄物の発生を抑制する製品です。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト縮減、品質向上、環境負荷が小さい。</li> </ul>	
<p>登録番号</p> <p>7017</p> <p>スーパーボックスカルバート</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部材にPRC構造を導入し部材形状を凹型にしたことで、部材の軽量化が図られ、大型断面を経済的に構築可能としたボックスカルバートです。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・断面寸法に係わらず工期を大幅に短縮できる。</li> <li>・スパン10m程度からトータルコストの縮減効果が期待できる。</li> <li>・工場製品での構築となるため、品質が向上する。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト縮減、品質向上、環境負荷が小さい。</li> </ul>	
<p>登録番号</p> <p>7018</p> <p>BASK（バスク）</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート、モルタル等のクラック（亀裂）、剥離等の発生しやすい箇所の処理等を目的に開発された無機材と合成高分子エマルジョン（セメント系）を組み合わせ、その他数種類を混合した新しいタイプの特殊樹脂モルタルです。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョイント処理、各種塗装下地材としての万能材です。</li> <li>・高強度を保有し、剥離及び亀裂等を防ぎます。</li> <li>・養生期間が短いため、工期の大幅な短縮に役立ちます。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト縮減、品質向上、環境負荷が小さい。</li> </ul>	

工法名	工法概要	新技術・新工法
<p>登録番号</p> <p>8019</p> <p>サイクルハンマー工法</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルハンマー工法は、超高周波型サイクルビットにより、硬質地盤を微振動衝撃破砕する。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・超低振動、低騒音により、夜間作業、市街地、住宅地、オフィス街等の振動公害対策が求められるところでも施工が可能。</li> <li>・機械がコンパクトなため、設置撤去が容易にできるうえ、支障物件の近接施工が可能。</li> <li>・毎分7,200回の超高周波垂直運動（垂直振幅5mm）により高速削孔が可能。</li> <li>・ベントナイトを使用しないため、産業廃棄物が発生しない。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期短縮、コスト縮減、環境負荷が小さい。</li> </ul>	
<p>登録番号</p> <p>8020</p> <p>ワイヤーネットワークA工法</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転石抑止工の中のロープネット工に関する改良技術。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロープネット工に使用されるワイヤーロープには主ロープと補助ロープがあり、アンカーに直結されるロープを主ロープ、間接に結合されるロープを補助ロープとしている。</li> <li>・本工法は従来工法に比較し、主ロープの割合を増やし、同一強度で経済性を向上させることを特徴とする。また、テンションバーを採用することにより、気温の変化によるロープ張力の変動を抑制することが可能である。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト縮減、品質向上。</li> </ul>	
<p>登録番号</p> <p>8021</p> <p>張出車道工法</p>	<p>（工法説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本構造は現道の谷側に直接基礎又は杭基礎を設け、その上にプレキャスト製PC床版を敷設して新たな路面を造成し、床版の一部が張り出した構造物です。床版の山側におもりとなるプレキャスト擁壁及び擁壁背面に現場打ちコンクリートを打設し、床版を押さえ込んで安定化を図っています。</li> </ul> <p>（特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急峻な地形で、谷側に拡幅を行うのに有効で、「1.5車線計画」で現道の一部区間を2車線化する等の計画に有効。</li> </ul> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期短縮、コスト縮減。</li> </ul>	 <p style="text-align: right; font-size: small;">注）下部工は地盤条件により決定され、杭基礎の場合もある。</p>

工法名	工法概要	新技術・新工法
<p>登録番号 12022</p>	<p>（工法説明）                      ・「軽量法枠やまChan」は、コンパクトに折りたたまれたものを法面で開き、予め配筋された主鉄筋の上に置き、波型サポート帯3箇所主鉄筋を結束するだけで簡単に地山へ設置することができる工場製品で、作業の省力化により施工コストが削減され、経済性の向上が期待できる工法である。                      （特徴）                      ・法面での型枠組立、設置作業の省力化、材料の削減により経済性が大きく向上。                      ・従来技術に比べ、断面を小型化することにより、材料を軽量、簡略化。                      使用材料も削減。                      （効果）                      ・コスト縮減、省力化、作業環境の向上。</p>	
<p>登録番号 13024</p>	<p>（工法説明）                      ・本工法は、電気エネルギーを活用した衝撃力と薬剤の燃焼ガス圧で硬岩やコンクリートを破砕する工法です。                      ・瞬時に大きな圧力で破砕しますので、従来工法のように連続的な騒音や振動が発生しません。                      ・従来工法による打撃破砕では困難な硬岩の破砕を実現します。                      [硬岩実績：350MPa]                      （特徴）                      ・従来工法のような連続騒音や振動及び破砕時の粉塵が発生しないため、市街地や住宅地などで、環境負荷の少ない破砕を提案できます。                      ・資機材一式を普通車（1BOX車等）に搭載できるため、現場へのアプローチが容易です。                      ・破砕点に必要な機材は全て人力可搬型ですので、狭隘な場所や急峻な斜面などでの破砕が可能です。                      （効果）                      ・施工性、安全性、環境配慮で向上。</p>	
<p>登録番号 14025</p>	<p>（工法説明）                      ・局地的な集中豪雨や夜間における出水、自然災害によるライフラインの断絶等の非常時においても、操作員による閉扉操作が不可欠であるが、浮体式陸閘ゲートは扉体の持つ浮力により外水位の変化に応じて起立し閉扉する構造となっています。これにより、不測の事態で操作員が現場に行けない場合でも扉体をフリーにしていれば浮力により起立するため、洪水被害を軽減し、かつ、操作員の安全性が向上します。                      （特徴）                      ・河川堤防の開口部に設置される陸閘ゲートであり、非常時には浮体構造となっている扉体が浮力により起立し閉扉する技術です。                      ・地下施設の入口に設置することにより、ゲリラ豪雨等の大雨による局地的な豪雨災害に際しても、浮力による閉扉機能により浸水被害を防止します。                      ・防潮堤開口部の陸閘ゲートとしても応用可能な技術です。                      ・扉体の起立時には、ロック機構により起立状態を維持できます。                      ・側部戸当りの水密部にD形の合掌水密ゴム（以下、パツファゴムという。）を設置しているため、急激な起立による衝撃を吸収できる構造としています。                      ・輪荷重25T、A活荷重に対応した構造としています。                      （効果）                      ・工期、経済性、安全性、環境</p>	

工法名	工法概要	新技術・新工法
<p>登録番号 16026</p> <p>MM-ジョイント・DS型</p>	<p>（工法説明） ・橋梁用伸縮継手装置において適用する埋設ジョイントです。</p> <p>（特徴） ・上部舗装部に付着性が強い特殊性合材を使用し、床版上にゴムシートを敷設することにより低温時に優れた伸縮性の特性を持ちます。 ・特殊合材とゴムシートによりスムーズに伸縮に対応することができ、ジョイント端部のクラックの発生を低減できます。 ・特殊合材（高粘弾性）であるため、プライマーが不要となり作業時間が短縮できます。</p> <p>（効果） ・品質・出来形、経済性、県産資材活用</p>	 
<p>登録番号 16027</p> <p>ECONBI工法</p>	<p>（工法説明） ・側溝蓋による修繕の技術。</p> <p>（特徴） ・ECONBI工法は、主に側溝蓋掛け部の破損に伴う側溝蓋等の補修に際して、従来の永久型枠及びコンクリートを使用した暗渠化工法から、既存側溝にプレキャスト化された蓋と充填モルタルを使用し側溝の補修を行うもので、コンクリート養生等の必要がなく即日開放が可能となし、本体の取り壊しが必要なく通行障害及び振動、騒音の問題を解消できる工法です。</p> <p>（効果） ・工程、品質、安全性、施工性、耐久性。</p>	
<p>登録番号 17028</p> <p>イージーラーメン橋 （H鋼桁埋込RC複合門型ラーメン橋）</p>	<p>（工法説明） ・橋梁の上部構造と下部構造を剛結一体化させ、門型ラーメン構造の橋梁にする技術。</p> <p>（特徴） ・上下部剛結一体化させる門型ラーメン橋では単純構造の橋梁に比べて杭基礎本数の低減、支承や落橋防止装置の省略、下部工サイズの縮小などが可能となり、建設コストの縮減が期待できる。門型ラーメン構造であるので従来工法に比べて耐震性に優れる。伸縮装置が不要となるため維持管理コストが低減できる。伸縮装置がないため騒音、振動を大幅に低減でき、低桁高により周辺取り付け道路の嵩上げ等も減少し、周辺環境への影響を低減することができる。</p> <p>（効果） ・経済性、施工性、耐久性、環境（NETISによる技術の位置付け） ・活用促進技術（有用な新技術）</p>	

工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号	(工法説明)	
19030	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来のプラスチック平面反射体を樹脂製曲面反射体にした円形の道路鏡である。360°の視認性をもつ構造で、道路鏡本体のずれや反射体の破損による影響を受けることなく、夜間視認性を発揮する製品である。</li> </ul>	
ケーズリング (Hタイプ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(特徴)</li> <li>樹脂製であり、製品単価が安価である。</li> <li>360°の視認性をもつ構造で、道路鏡本体のずれや反射体の破損による影響を受けることなく、夜間視認性を発揮し、道路交通の安全に寄与する。</li> <li>車両が本製品を踏みつけても、材質が樹脂であるため、金属製の道路鏡と比べると車両への影響が小さい。</li> <li>(効果)</li> <li>品質・出来形、経済性、安全性、環境</li> </ul>	 
登録番号	(工法説明)	
13023	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面補修に使用する常温合材で、従来までは石油系有機溶剤が使用されているため、人体や環境に有害な影響を及ぼすリスクがありました。しかし、オレンジパッチは石油系有機溶剤の代わりに柑橘系果皮オイルを使用しているため、人体、環境に無害な全天候型常温合材です。</li> </ul>	
オレンジパッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>(特徴)</li> <li>本技術は100%植物系の溶剤を使用しています。</li> <li>石油系有機溶剤を含まないため、人体に触れても無害です。また、大気汚染、土壌汚染、地下水汚染の心配がありません。さらに、従来技術では対応できなかったカラー舗装にも本技術は対応可能です。</li> <li>特に効果の高い適用範囲 交通量の多い道路 用水路、水田などへ溶剤の流出が懸念される場所</li> <li>(効果)</li> <li>安全性、環境</li> </ul>	